

Model Course 8

犬鳴山からアラレ宿

【葛城第七経塚(中津川)】
【葛城第八経塚(犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽)】

葛城修験の根本道場、七宝瀧寺から 経塚や行場のある頂へ 第七経塚にも足を延ばして

犬鳴山七宝瀧寺は、葛城修験の拠点のひとつであり、一般の目に触れるのは行者の滝をはじめとする滝群だが、周辺の山中には数多くの行場が設けられている。犬鳴山をスタートして、第七経塚に足を延ばす。

犬鳴山バス停から温泉街を抜けて七宝瀧寺を目指す。総門からが寺域となり、雲囲気が一変する。両界ノ滝や塔ノ滝を見ながら、本堂に向かうが、赤い瑞龍門を越えたところに修験会館への分岐があるので時間があれば立ち寄りたい。犬鳴山の名の由来となった義犬の墓を左上に見ると、やがて右手に大きな身代わり不動明王像の立つ広場がある。ここに第八経塚のある経塚権現山への登山道に取り付く。

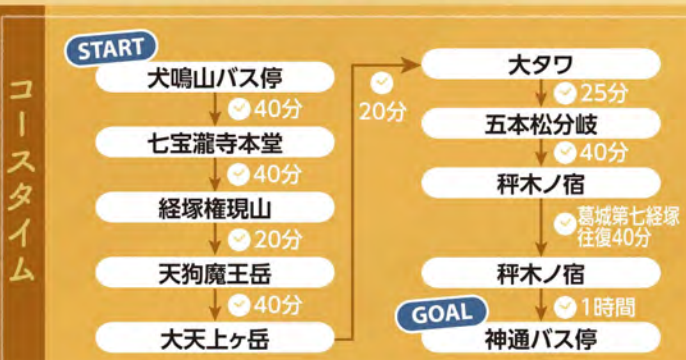
急坂を登り切り、右へ向かい護摩場のある燈明ヶ岳へ。尾根伝いに登ると第八経塚がある。経塚権現山を越え、右に分岐する道をたどって天狗像のある天狗魔王岳へ。同じ道を引き返し、先ほどの分岐を直進して今度は大天上ヶ岳に向かう。天狗魔王岳、大天上ヶ岳の手前はロープがあるが足もとには要注意。ここから大タワへは倒木などの荒れた箇所も多い。伐採地の先では、正面の山には登らずに、左の山腹ついた踏み跡を行く。道なりに進んで道路に出たところが大タワだ。

大タワからは延々道路歩きとなる。五本松への分岐では右にとり、緩やかに下っていく。右に神通への未舗装林道の下り口を見ると、やがて祠が祀られる秤木ノ宿がある。その先の分岐で右に行けば、第七経塚に着く。

経塚を往復して下り口から未舗装林道をたどると、神通温泉の前に出てくる。

歩行距離 ◆ 約14km
歩行時間 ◆ 5時間25分

体力レベル ★★
登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



行者の滝は犬鳴山の行場ではよく知られている

細い踏み跡をたどって大タワへ。以後は道路歩きだ

天狗の石像が鎮座する天狗魔王岳

アラレ宿の第七経塚。中津川への古道もあるがほぼ廃道

アクセス



アドバイス

後半は道路歩きになるが、山中はいずれも急坂の登山道。トレッキングシューズで臨むこと。また、天狗魔王岳と大天上ヶ岳手前のロープ場は足元が悪い。雨天や雨後の登山は控えよう。神通バス停からの便は1時間に1便程度。時間が合えば、温泉で汗を流して帰途につくこともできる。